

毎週日曜発行
2024 12/8

こども新聞 週刊がほピョンプレス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

福祉用具の製造やレンタルなどを手がけるジェー・シー・アイ(宮城県富谷市)とグループ会社が、使う人に合わせ、さまざまな部品を細かく調整したオーダーメイドの車いすを作っています。



地球のためにできること

オーダーメイドの車いす製造

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



①子ども向け車いす「Hello!」を組み立てる佐々木さん
②「Hello!」に乗り外出する舟橋輪樹ちゃん(右)と母の茉悠さん

シートと背もたれの高さや角度、座面の奥行き、車輪の位置、足を置く台の高さなど、輪樹ちゃんが使いたいよう、何度

を使っています。仙台市青葉区の舟橋輪樹ちゃん(3)は脊髄性筋萎縮症という病気のりハビリのため、6月から同社の子ども向け車いす「Hello!(ハロー)」

「ハンディがある人の総合自立生活支援が会社の原点。大もうけはできないけど、我が社を象徴する事業として、オーダーメイドの車いすを作り続けたい」と語ります。

品が加わりました。手作業で組み立てるため大量生産に向かず、製造できるのは年に数十台です。大信田和義社長は

1978年、オーダーメイドの車いすの製造を始めました。当初は大人用のみでスタートし、2016年に子ども向けの製品が加わりました。

国連の持続可能な開発目標(SDGs)の3番目「すべての人に健康と福祉を」を目指す事業で、子どもから大人まで、ハン

社は大人向けと2歳以上の子ども用の車いすを作っています。製造を担うグループ会社ジェー・シー・アイカスタム&モビリティ(富谷市)開発・生産本部部

3 すべての人に健康と福祉を



ディと共に暮らす人や家族に喜ばれています。

疲れずより質高い生活を

長の佐々木康尊さん(47)は「長い時間座っていても疲れず、より質の高い生活を送れる車いすを届けたい」と言います。

約100〜300の部

品を組み立て、1台を作ります。部品の多くは特注で、使う人の体形や姿勢などに応じ、複数のパーツの形や位置をミリ単位で変えるそうです。

ジェー・シー・アイは1978年、オーダーメイドの車いすの製造を始めました。当初は大人用のみでスタートし、2016年に子ども向けの製品が加わりました。



も打ち合わせを重ね、アレンジしたそうです。「弱い力でも自分で車輪を動かして動けるようになり、できることが増えて自信になっている」と母の茉悠さん(35)。車いすに乗る輪樹ちゃんは「疲れ知らず。笑顔を絶やしません。」

今週の注目ニュース

◇8日(日) 土星食
月が土星を隠す現象が起きます。仙台では午後6時27分ごろに土星が月の後ろに隠れ始め、午後6時58分ごろから再び現れます。肉眼でも見られますが、双眼鏡や望遠鏡を使うと、より観察しやすくなります。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者リポート